

7 市場事業

(1) 事業数

平成18年度における市場事業の事業数は、下記の9事業12施設で、いずれも法非適用事業である。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (8事業10施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿市場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場 地方卸売市場気仙沼市青果市場
	白石市	白石市地方卸売市場(青果)
	角田市	角田市地方卸売市場(青果)
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)	

(2) 施設の利用状況

年間取扱高は76万4,274tで、前年度に比べ3,539t(0.5%)減少している。その内訳は、青果物が23万242t、水産物が50万9,062t、食肉・鶏卵・その他が2万4,970tで、前年度に比べ水産物が1万1,910t(2.4%)と2年連続して増加しているのに対し、青果物が1万5,227t(6.2%)、食肉・鶏卵・その他が222t(0.9%)それぞれ減少している。

年間売上高は2,266億12百万円で、前年度に比べ36億2百万円(1.6%)増加している。その内訳は、青果物が513億67百万円、水産物が1,446億57百万円、食肉・鶏卵・その他が305億88百万円で、前年度に比べ青果物が4億86百万円(1.0%)、水産物が36億17百万円(2.6%)増加しているのに対し、食肉・鶏卵・その他が5億1百万円(1.6%)減少している。

また、市場関係業者数は卸売業者18社、仲卸業者49社、売買参加人が2,271人、関連事業者が48人となっており、前年度に比べ、仲卸業者が2社、売買参加人が81人と、それぞれ減少している。

第1表 利用状況の推移

年 度		14		15		16		17		18		対前年度比較	
		14	構成比 (%)	15	構成比 (%)	16	構成比 (%)	17	構成比 (%)	18	構成比 (%)	b - a	(c/a)
項 目								a		b		c × 100(%)	
取 扱 高 (t)	青 果 物	307,964	39.5	304,400	37.0	289,356	38.0	245,469	32.0	230,242	30.1	△15,227	△6.2
	水 産 物	441,569	56.7	488,927	59.5	444,989	58.4	497,152	64.7	509,062	66.6	11,910	2.4
	食肉・鶏卵・その他	29,331	3.8	28,776	3.5	27,200	3.6	25,192	3.3	24,970	3.3	△222	△0.9
	計	778,864	100.0	822,103	100.0	761,545	100.0	767,813	100.0	764,274	100.0	△3,539	△0.5
売 上 高 (百万円)	青 果 物	69,734	26.6	67,330	28.0	66,337	27.0	50,881	22.8	51,367	22.7	486	1.0
	水 産 物	161,408	61.6	143,121	59.5	146,664	59.8	141,040	63.2	144,657	63.8	3,617	2.6
	食肉・鶏卵・その他	31,039	11.8	30,146	12.5	32,242	13.1	31,089	13.9	30,588	13.5	△501	△1.6
	計	262,181	100.0	240,597	100.0	245,243	100.0	223,010	100.0	226,612	100.0	3,602	1.6
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	20	—	20	—	20	—	18	—	18	—	0	0.0
	仲 卸 売 業 者 (社)	62	—	61	—	58	—	51	—	49	—	△2	△3.9
	売 買 参 加 人 (人)	2,883	—	2,795	—	2,716	—	2,352	—	2,271	—	△81	△3.4
	関 連 事 業 者 (人)	49	—	51	—	50	—	48	—	48	—	0	0.0

それぞれ、青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」

(3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は33億32百万円で、前年度に比べ1億67百万円(5.3%)増加しており、総費用も29億92百万円で、前年度に比べ1億80百万円(6.4%)増加している。この結果、収支差引では3億40百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が13百万円(3.7%)減少している。

また、資本的収支における収入は12億56百万円で、前年度に比べ1億95百万円(18.4%)増加しており、支出も16億4百万円で、1億81百万円(12.7%)増加している。この結果、収支差引では3億48百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が14百万円(3.9%)減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引では7百万円の赤字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支では3億57百万円の赤字となり、前年度より赤字が2百万円(0.6%)増加している。

なお、収益的収支比率は87.6%で、前年度に比べ0.2ポイント低下している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度	14	15	16	17	18	対前年度比較	
								a	b
収 入 的 収 入	総 収 益 A		3,291	3,184	3,266	3,165	3,332	167	5.3
	営 業 収 益		2,028	1,998	2,004	2,060	2,305	245	11.9
	う 料 金 収 入		1,934	1,900	1,914	1,863	1,862	△1	△0.1
	ち そ の 他		94	98	90	197	443	246	124.9
	営 業 外 収 益		1,264	1,186	1,262	1,106	1,028	△78	△7.1
	う ち 他 会 計 繰 入 金		783	709	740	674	640	△34	△5.0
	総 費 用 B		2,808	2,725	2,738	2,812	2,992	180	6.4
	営 業 費 用		2,224	2,174	2,176	2,288	2,469	181	7.9
	う ち 職 員 給 与 費		530	514	476	477	464	△13	△2.7
	営 業 外 費 用		584	551	562	524	523	△1	△0.2
う ち 支 払 利 息		533	501	473	452	432	△20	△4.4	
収 支 差 引 (A-B) C		483	459	529	353	340	△13	△3.7	
資 本 的 収 入	資 本 的 収 入 D		2,011	1,563	1,897	1,061	1,256	195	18.4
	地 方 債		1,435	843	1,171	460	450	△10	△2.2
	他 会 計 繰 入 金		450	487	578	472	501	29	6.1
	工 事 負 担 金		0	0	0	0	0	0	—
	国 ・ 県 補 助 金		100	205	138	96	226	130	135.4
	そ の 他		27	28	9	33	79	46	139.4
	資 本 的 支 出 E		2,459	2,039	2,387	1,423	1,604	181	12.7
	建 設 改 良 費		1,632	1,181	1,350	605	789	184	30.4
	地 方 債 償 還 金 e		804	854	950	792	813	21	2.7
	そ の 他		23	4	87	26	2	△24	△92.3
収 支 差 引 (D-E) F		△448	△476	△491	△362	△348	14	△3.9	
収 支 再 差 引 (C+F) G		35	△17	38	△9	△7	2	△22.2	
積 立 金 H		0	0	55	0	0	0	—	
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I		11	45	28	22	12	△10	△45.5	
前 年 度 繰 上 充 用 金 J		368	368	368	368	368	0	0.0	
形 式 収 支 (G-H+I-J) K		△322	△340	△357	△355	△357	△2	0.6	
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L		35	15	1	1	1	0	0.0	
実 質 収 支 (K-L)		△357	△355	△358	△355	△357	△2	0.6	
う ち	黒 字		10	13	11	13	10	△3	△23.1
	赤 字		367	368	369	368	367	△1	△0.3
職 員 数		67	67	62	59	57	△2	△3.4	
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)		91.1	89.0	88.6	87.8	87.6	△0.2	—	

注1 調査表の数値(千円単位)を端数処理しているため、縦の差し引きは必ずしも一致しない場合がある。

注2 平成18年度においては、収益的支出に充てた地方債7百万円があるため、実質収支の額は表中の数式による数値と一致しない。